

第4回「市民参加条例」策定に係るワークショップ 主な論点と意見

【論点1】会議の進め方について

●会議に臨む姿勢について

- ・第1～3回のワークショップで質問した内容についての回答がない。
- ・第1回、2回の板書のコピーの背景が黒くて読めるものではない。なぜ、そのようなものが提出できるのか、神経がわからない。
- ・コンサルタントを信用できない。信頼できるコンサルタントに変更して欲しい。市もスタンスを根本的に変えて欲しい。
- ・まず職員がワークショップで、市民参加のあり方を考えておくべきではなかったのか。

●進め方について

- ・第3回のグループ討議の結果を踏まえ、議題があるかと思っていたがいない。進め方、市の考え方を示して欲しい。
- ・会議資料、議事録等をホームページに掲載した場合は、速やかに参加者に連絡して欲しい。

【論点2】各回のワークショップの記録について

●議事録

- ・第3回ワークショップの議事録は、発言内容が全て起こされているが、第1回、2回は要旨となっており、正確性に欠ける。寸劇の内容も起こされていない。

⇒第1回、2回についても、発言内容を全て起こすこととなった。

なお、内部用として発言者名を入れ、メンバーにチェックしていただき、チェック終了後、発言者名を除き、ホームページへ掲載することとなった。

●ワークショップニュース

- ・第3回ワークショップのグループ討議結果の発表が掲載されている。また、各号に「市民ワークショップを終えて・・・」とある。市民が作成していると誤解を与えないようにして欲しい。
- ・ワークショップニュースの作成方針を事前に説明されていないことに問題がある。

【論点3】グループ討議について

●グループ討議の進め方について

- ・参加者が付箋に意見を書き進めたグループ、ファシリテーターが付箋に記録を残したグループと、進め方が統一されていない。
- ・グループ討議の最初に討議結果を参加者が発表することについて、伝達されていなかった。結果、グループの意見を十分に伝達できなかった。
- ・付箋に書かれた内容だけでは、各班で話し合われた内容についての意図が把握しきれない。きちんと録音をとり、議事録を起こすべき。

⇒グループ討議を実施する場合は、進め方を共有するとともに、録音し議事録を作成することとなった。